



心ひとつに

美郷中学校
 学校報 NO.31
 R3. 9. 8

授業研修会

7日(火) 3・4校時、美郷町教育委員会で行っている校内研修改善・授業力向上推進事業「専門家による研修・授業改善研修」が本校で行われ、秋田大学大学院教育学研究科の〇〇〇〇教授をお招きして、2年2組での数学の授業研究会、全体研修会が行われました。

〇〇教授からは、本校の研修の在り方についてお褒めの言葉をいただき、全ての教科の授業に生かせる考え方を教えていただきました。生徒一人一人のよさを生かした授業実践ができるよう、これからも皆でがんばろうと話したところです。



お天道様【授業参観の様子 2年2組】

交通安全への願い

9月1日の朝から、学校前の道路で、2年生の女子4名が手を挙げて横断歩道を渡っています。

横断歩道で手を挙げるのは、自分の存在と、横断歩道を渡る意志を示すためです。小学生の頃、当たり前のように手を挙げて渡っていましたが、いつの間にか、行わなくなっていました。【手を挙げて渡ります】



今年4月、交通安全教育の指針の一部が改正され「手を上げて運転者に横断する意思を明確に伝えよう」という項目が43年ぶりに復活されたそうです。もちろん、手を挙げることで、止まってくれる車が増えるといった効果があることは、調査により確認されています。

本校生徒が学校前の横断歩道で待っていても、気付かないのか、そのまま走り去っていく車があります。40km制限の道路ですが、60～70kmぐらいの速度で走って行く車もあります。また、未だに、スマホ等で電話をしながら運転している人もいます。

生徒の皆さんには何度も伝えていますが、横断歩道の信号が青に変わっても、右左を見て、安全を確認してから渡り始めるなど、自分の命は自分

で守る努力が必要です。これは、車でも同じです。以前、よそ見をしていて、青信号になったのに気付かず、発進が遅れたおかげで、信号無視の車との事故を免れた経験があります。(下の画像です)

今はあまり聞くことがなくなりましたが「注意一秒、ケガ一生」は、まさしくその通りだと実感しています。保護者の皆さんもお気を付けてください。



【信号が青に変わってから6秒後のドラレコ画像です】

「あいさつ」の効果

8月下旬のある朝、学校前の横断歩道近くに立っていると、今まで会ったことのない高校生が自転車に乗って目の前を通っていきました。

- 1日目：よそ見をしていたせいもあり、高校生へのあいさつが遅れ、背中に向かってあいさつをしました。聞こえなかったのか、反応はありませんでした。
- 2日目：高校生が自転車で近づいてきたのがわかったので、相手を見て、軽く会釈をしながら、大きめの声であいさつをしました。やや厳しい表情のまま、通り過ぎて行きました。
- 3日目：前回と同じようにあいさつをしたら、ちょっと笑顔になりましたが、それ以外の反応はありませんでした。
- 4日目：いつものようにあいさつをしたら、軽く会釈をして、小声で「うっす！」と言ってくれました。
- 5日目：いつものようにあいさつをしたら、笑顔で、軽く会釈をしながら「あざっす！」(おはようございます)と言ってくれました。

お互いに、相手の名前も知らない仲ですが、あいさつで、いくらか心が通ったかなと感じた、ありがたい出来事でした。ただ、私のあいさつをうとうとと感じ、学校前を通らなくなるのではないかと心配しています。そうなりませんように！

本校生徒でも、あいさつをがんばっている人はたくさんいますが、そうでない人たちが、町内のあちこちで、もう少し大きな声であいさつをがんばれば、その声の大きさに比例して、地域が元気になっていくのではないかなと感じています。がんばりたいです。

